

人文研紀要

第19号～第21号(1994年)

◆第19号—1994年(1994年9月発行 A5版246頁)

あるウィーンの世界 —ジョルジュ・タボーリ『わが闘争』について—	平山 令二
「挑発されなかった妻」と「挑発された妻」 —ヴァンブールの二つの喜劇—	塚野 千晶
劇作家くずれの小説家 —トマス・ウルフと「劇」—	岡本 正明
ホーソン『緋文字』の序文「税関」を読む —《スケッチ》から《ピクチャレスク＝ロマンス》へ—	武藤 脩二
貨幣と指輪の力学 —『ヴェニス商人』論—	川地 美子
Jesuit Plays on Japanese Themes in the Seventeenth Century	Masahiro Takenaka
The men that gave their country liberty' : Carnavalesque Republicanism in <i>Julius Caesar</i>	Tetsuya Motohashi
イギリス・ルネサンスと日本 —音楽を中心とする文化交渉の諸相—	富永 道夫
一九九三年の中国文学界 —『廢都』小考—	井口 晃

◆第20号—1994年(1994年9月発行 A5版264頁)

市町村の標語を通して見た民衆文化の一考察	田野崎 昭夫
Représentation sémantique et écriture idéographique dans la langue japonaise	Reijiro Terauchi
ネリー・ザックスにおける「無の風景」 —ベーム受容について—	富田 裕
中世アイルランドの女性(下) —里子制度の機能と性格—	盛 節子
ツェラーンとアウスレンダーの出会い	北 彰
ツェラーンとリルケーツェラーンの第五詩集『息の転回』を中心にして(上)—	相原 勝
日本社会における脱法的行動様式の諸相	宮城 隆司
日本軍毒ガス作戦日誌初稿補遺 二 —一九三八年を中心に—	斎藤 道彦
《研究ノート》 『ゲール詞華集』における詞二篇に関する覚書	小菅 奎申

◆第21号—1994年(1994年9月発行 A5版236頁)

日本におけるヌーヴォー・ロマンの研究(3) —1980年代前半—	鈴木 重生
二者択一のかなたにあるもの —クリスタ・ヴォルフ『どこにもない場所』—	長谷川 弘子
Against Witness —Iris Murdoch's <i>The Red and the Green</i> —	Motoko Ono
外国語教育に関するアンケート調査報告 —1993年度—	研究会チーム 「外国語教育研究」